

## 中小企業における 景気実感と英EU離脱の影響について

- 今後1年の景気「悪くなる」が83.4%

中国経済の不安や円高傾向などで景気に陰りが出るなか、英国のEU(欧州連合)離脱決定により世界に衝撃が走り、我が国でも一時リーマンショック発生時を上回る株価暴落や円高騰があった。その後、落ち着きを取り戻しつつあるが、中小企業におけるこの影響や、景気の実感と見通しなどについて、アンケート調査で探ってみた。

調査時点：2016年7月上旬(1日~7日)  
調査対象：大阪シティ信用金庫取引先企業  
(大阪府内)  
調査方法：聞き取り法

依頼先数：1,385社  
有効回答数：1,332社  
有効回答率：96.2%  
有効回答内訳：下の表のとおり

業種	実数	構成比
製造業	521社	39.1%
卸売業	222	16.7
小売業	110	8.3
建設業	204	15.3
運輸業	100	7.5
サービス業	175	13.1
計	1,332	100.0

従業者	実数	構成比
10人未満	820社	61.6%
10~49人	448	33.6
50人以上	64	4.8
計	1,332	100.0

# 1. 景気の実感等について

## (1) 景気の実感

- 「悪化を実感」が増加

はじめに、自社の仕事をとおり、現在の景気をどのように実感しているかすべての企業に聞いた結果が第1表 - (1)である。

全体として見ると、「足踏み状態」と答えた企業が54.1%で最も多く、「悪化を実感」と答えた企業が28.3%、「回復を実感」は17.6%だった。

1年前に比べると、「悪化を実感」と答えた企業が12.4ポイント増加したのに対し、「回復を実感」とする企業は15.4ポイント減少し、今回は「悪化」が「回復」を逆転する結果となった。

このように、中小企業の景気実感は、1年前に比べ明確に悪化している。

第1表 - (1) 景気の実感

(%)

区分		項目	回復	足踏み	悪化	計
業種別	製造業		18.4 (32.8)	50.3 (49.0)	31.3 (18.2)	100.0 (100.0)
	卸売業		14.9 (27.0)	57.6 (53.8)	27.5 (19.2)	100.0 (100.0)
	小売業		8.2 (21.3)	61.8 (57.4)	30.0 (21.3)	100.0 (100.0)
	建設業		24.5 (46.0)	51.4 (44.2)	24.1 (9.8)	100.0 (100.0)
	運輸業		9.0 (30.7)	61.0 (54.5)	30.0 (14.8)	100.0 (100.0)
	サービス業		21.2 (35.9)	54.8 (56.4)	24.0 (7.7)	100.0 (100.0)
規模別	10人未満		16.0 (28.9)	54.6 (53.4)	29.4 (17.7)	100.0 (100.0)
	10～49人		19.9 (40.2)	53.8 (46.7)	26.3 (13.1)	100.0 (100.0)
	50人以上		21.9 (50.0)	48.4 (42.5)	29.7 (7.5)	100.0 (100.0)
全体			17.6 (33.0)	54.1 (51.1)	28.3 (15.9)	100.0 (100.0)
[参考:2016年2月]			[28.1]	[49.5]	[22.4]	[100.0]

( )内は1年前、2015年7月調査

(2) 悪化を実感する要因

- 「売上が減少」が 63.0%

前項で「悪化を実感」と答えた企業(377社、28.3%)に対し、具体的にどのような要因から悪化を実感しているのか複数回答で聞いた結果が第1表 - (2)である。

全体として見ると、「売上が減少してきた」と答えた企業が 63.0%で最も多く、「業界内で暗い話が増えてきた」とする企業も 38.1%で続いている。このほか、「商談が減少してきた」は 26.2%、「販売価格が弱含みになってきた」も 23.0%となっている。

第1表 - (2) 悪化を実感する要因

(複数回答、%)

区分		項目	売上が減少	業界内で暗い話	商談が減少	販売価格が弱含み	その他
業種別	製造業		74.2	35.6	27.0	17.2	0
	卸売業		67.2	37.7	29.5	32.8	0
	小売業		72.7	30.3	12.1	15.2	6.1
	建設業		40.8	51.0	26.5	38.8	0
	運輸業		50.0	43.3	20.0	16.7	6.7
	サービス業		40.5	35.7	33.3	23.8	2.4
規模別	10人未満		64.3	34.9	27.0	23.7	1.2
	10~49人		61.9	43.2	23.7	23.7	1.7
	50人以上		52.6	47.4	31.6	10.5	0
全体			63.0	38.1	26.2	23.0	1.3

## 2. 英EU離脱の影響等について

### (1) 国民投票の事前予想

- 「残留派勝利を予想」が 77.6%

もし英国がEU(欧州連合)を離脱するような事態になれば、我が国にも多大な影響が及ぶであろうことが事前に報じられ関心が高まっていたが、実際に国民投票で残留派と離脱派のいずれが勝利すると予想していたか、すべての経営者に聞いた結果が第2表-(1)である。

全体として見ると、「残留派の勝利を予想していた」と答えた経営者が77.6%と圧倒的に多く、「離脱派の勝利を予想していた」とする経営者は22.4%だった。

以上のとおり、英国のEU(欧州連合)離脱決定という事態は、大半の中小企業経営者にとっては予想外の出来事だったようだ。

第2表-(1) 国民投票の事前予想

(%)

区分		項目	残留派の勝利	離脱派の勝利	計
業 種 別	製 造 業		79.1	20.9	100.0
	卸 売 業		77.0	23.0	100.0
	小 売 業		70.0	30.0	100.0
	建 設 業		76.0	24.0	100.0
	運 輸 業		85.0	15.0	100.0
	サービ業		76.0	24.0	100.0
規 模 別	10人未満		75.5	24.5	100.0
	10~49人		81.0	19.0	100.0
	50人以上		79.7	20.3	100.0
全 体			77.6	22.4	100.0

(2) リスクの大きさ

- 「今後リーマンショック級に」が 17.3%

英国のEU離脱決定により、一時的にリーマンショック発生時を上回る大幅な株価暴落や円高騰があったが、その後は落ち着きを取り戻した。しかし、先を見通したとき、経済的なリスクは今後どれくらいの大きさに広がる可能性があると思うか、リーマンショックとの比較で聞いた結果が第2表 - (2)である。

全体として見ると、「今後リーマンショック級の大きさに広がり得る」と答えた企業は 17.3%だが、「リーマンショックほどではないがかなり大きくなる」と予想する企業が 59.8%と多い。一方、「リーマンショックに比べるとずっと小さい」とする企業は 22.9%だった。

このように、この先の展開によっては大きなリスクが発生し得るとの警戒感を抱く企業が多い。

第2表 - (2) リスクの大きさ

(%)

区分		項目	リーマンショック級の大きさに広がる	リーマンショックほどではないがかなり大きくなる	リーマンショックよりずっと小さい	計
業種別		製造業	18.1	58.9	23.0	100.0
		卸売業	18.9	60.8	20.3	100.0
		小売業	10.9	56.4	32.7	100.0
		建設業	19.1	59.8	21.1	100.0
		運輸業	15.0	63.0	22.0	100.0
		サービス業	16.0	61.7	22.3	100.0
規模別		10人未満	16.3	60.4	23.3	100.0
		10~49人	18.5	59.6	21.9	100.0
		50人以上	20.3	54.7	25.0	100.0
全体			17.3	59.8	22.9	100.0

(3) 自社への影響

- 「悪影響が出る」が 57.5%

英国のEU離脱により、今後実際に自社の経営そのものに影響が出てくと思うか聞いた結果が第2表 - (3)である。

全体として見ると、「直接的に悪影響が出る」と答えた企業は 2.6%だが、「間接的に悪影響が出る」とする企業が 54.9%あり、これら「悪影響が出る」と予想する企業の合計は 57.5%となる。一方、「とくに悪影響は出ない」と予想する企業は41.3%で、「好影響がある」とする企業は 1.2%だった。

第2表 - (3) 自社への影響

(%)

区分		項目	直接的に 悪影響が出る	間接的に 悪影響が出る	悪影響 は出ない	好影響が ある	計	+ 悪影響が出る
業 種 別		製造業	1.3	58.9	39.0	0.8	100.0	60.2
		卸売業	7.7	54.5	32.4	5.4	100.0	62.2
		小売業	4.5	51.0	44.5	0	100.0	55.5
		建設業	0.5	52.0	47.5	0	100.0	52.5
		運輸業	3.0	60.0	37.0	0	100.0	63.0
		サービス業	1.1	46.3	52.6	0	100.0	47.4
規 模 別		10人未満	3.2	50.7	44.8	1.3	100.0	53.9
		10~49人	2.0	61.6	35.3	1.1	100.0	63.6
		50人以上	0	60.9	39.1	0	100.0	60.9
全 体			2.6	54.9	41.3	1.2	100.0	57.5

### 3. 今後1年の景気予想

- 「悪くなる」が83.4%

最後に、今後1年程度の景気をどのように予想するか聞いた結果が第3表である。

全体として見ると、「悪くなる」と予想する企業が83.4%と圧倒的に多い。これに対し、「横ばい」と予想する企業は16.4%で、「良くなる」とする企業は0.2%と皆無に近い。

以上のとおり、中小企業の景気予想は極端に悪くなっている。

参議院選挙も終わり、政府はアベノミクスを再加速させるための経済対策を策定中だが、中小企業では実効性ある景気対策が待ったなしの状況にあるといえよう。

第3表 今後1年の景気予想

(%)

区分		項目	悪くなる	横ばい	良くなる	計
業 種 別	製造業		86.2	13.6	0.2	100.0
	卸売業		81.0	18.5	0.5	100.0
	小売業		80.0	20.0	0	100.0
	建設業		82.4	17.6	0	100.0
	運輸業		84.0	16.0	0	100.0
	サービス業		81.7	18.3	0	100.0
規 模 別	10人未満		82.9	17.0	0.1	100.0
	10～49人		84.4	15.4	0.2	100.0
	50人以上		84.4	15.6	0	100.0
全 体			83.4	16.4	0.2	100.0